

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 株式会社 JAファーム福岡(福岡市) ～地域の農地を保全！～
- 「ふくよかまる」～福岡県が開発した大豆の新品種～
- 令和3年市町村別農業産出額(推計)を公表しました

株式会社 JAファーム福岡(福岡市) ～地域の農地を保全！～

地域の耕作放棄地が増加する中、農地を保全するために平成20年に設立した株式会社JAファーム福岡の専務取締役 西様にお話を伺いました。その取組をご紹介します！

会社概要

- ・ 出資金 3,000万円(JA福岡市、社員)
- ・ 社員 9名(農繁期は臨時雇用で増員)
- ・ 事業区域 主にJA福岡市管内
- ・ 主要事業
作業受託(水稲育苗、**農作業受託(耕耘、草刈、田植え、稲刈り等)**)等)、**栽培、食育・研修(体験農園、貸し農園等)**、**農産物加工、農機レンタル、職業紹介(農繁期等の求職者と求人者のマッチング)**
- ・ 管理農地 約30 ha(栽培や保全管理等)

主な事業の実施状況

- ・ 農作業受託 233件
- ・ 貸し農園事業 258区画(約1 ha)
- ・ 職業紹介 31件50名

※全て令和4年度の実績。9月末現在。

依頼内容の幅が広がっています。

全区画貸出中！
新型コロナの影響等で需要増です。

課題と展望

農作業受託について、全てのご要望にお応えしたいものの、**トラクターが入れない山間部等のほ場はお断りせざるを得ない状況**です。担い手不足で当社を利用していただくのはありがたいのですが、当社の人材と機械には限りがあります。地域計画の策定が進んでいくと思いますが、地域の農地を誰がどのように管理するのか、当社のような農作業受託会社が地域の共同作業等にどこまで関わられるのか等の課題もあります。今後、**地域の農地保全については、まずは地域ぐるみで解決**することを考えていく必要があると思っています。

様々な事業部門がありますが、**重要性の高い農作業受託部門に重点**をおいていく必要があると考えています。可能な限り**人員を確保する等、地域に貢献**していきたいです！



農作業受託



貸し農園



店舗(自社生産の野菜を玄関先で販売)

※写真：一部JAファーム福岡様よりご提供

お話をきかせていただき、ありがとうございました！



「ふくよかまる」～福岡県が開発した大豆の新品種～

福岡県は全国有数の大豆の生産地ですが、生産量が年々減少傾向にあることから、福岡県が約十年の歳月をかけ、新品種「ちくしB5号」を開発しました。令和4年度から一般栽培が始まり、名称を「ふくよかまる」と名付け豆腐等の新商品の販売を開始！令和8年度までに県内の大豆作付は、全て「ふくよかまる」に転換される見込みです。

「ふくよかまる」の特長は？

栽培

- ・は種適期が長く、
6月下旬から早まきできる
- ・倒れにくい
- ・収穫ロスが少ない
- ・「フクユタカ」と比較し、

収量が1割程度増

味・加工特性

- ・粒が大きい
- ・”へそ”が白く、様々な用途に使いやすい
- ・豆腐や豆乳への加工適性に優れる
- ・加工したときに、甘みやコクがある



ふくよかまる

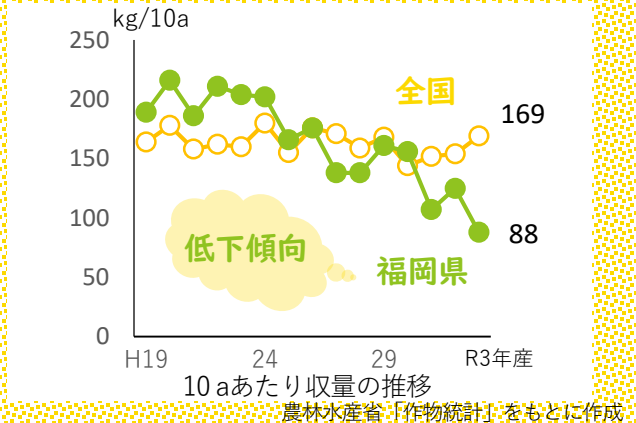
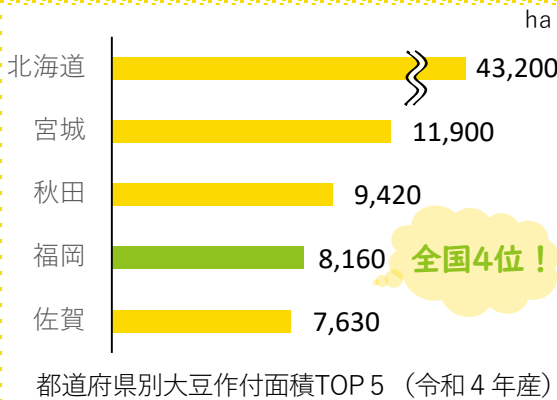


お披露目会 (2月15日)



ふくよかまるを使用した新商品

大豆生産に関するデータ



令和3年市町村別農業産出額(推計)を公表しました

令和3年市町村別農業産出額の第1位は宮崎県都城市となりました。福岡県内の市町村については、上位から、第28位に久留米市(289.6億円)、第49位に八女市(250.4億円)、第96位に糸島市(177.4億円)の順となりました。また、部門別でみると、花きで、久留米市(35.4億円)が第5位となりました。

詳細はこちら → https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sityoson_sansyutu/attach/pdf/index-4.pdf

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表)
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

